



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社 白洋舎 上場取引所 東
 コード番号 9731 URL <http://www.hakuyosha.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)五十嵐 素一
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(3460)1111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	33,552	1.0	895	45.1	1,044	61.1	817	320.4
24年12月期第3四半期	33,208	5.0	616	-	648	-	194	-

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 1,186百万円(166.8%) 24年12月期第3四半期 444百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	21 35	-
24年12月期第3四半期	5 08	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	31,084	6,928	20.7
24年12月期	29,629	5,938	18.5

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 6,427百万円 24年12月期 5,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	-	2 50	-	2 50	5 00
25年12月期	-	2 50	-	-	-
25年12月期(予想)	-	-	-	2 50	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	0.2	800	9.4	850	4.5	480	13.1	12 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規-社(社名) 、除外-社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	39,000,000 株	24年12月期	39,000,000 株
25年12月期3Q	690,904 株	24年12月期	683,439 株
25年12月期3Q	38,313,097 株	24年12月期3Q	38,320,605 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を受け、緩やかな回復基調にあり、株高による資産効果を背景として、個人の消費マインドに改善の動きも見られました。一方で、円安等に伴う電気・ガス料金や資材価格の上昇などコストの増加が懸念される状況が続きました。

このような状況下、当社グループではお客さま満足をすべての価値の中心とする「顧客中心経営」を掲げ、お客さまのニーズを満たすべくサービスの充実を図るとともに、お客さまとの接点を拡大すべく新規店舗の開設や異業種企業との提携強化などに注力してまいりました。

こうした取組みの結果、当社グループ売上高は335億5千2百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は、8億9千5百万円（前年同四半期比45.1%増）、経常利益は10億4千4百万円（前年同四半期比61.1%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業は、中長期的に需要が減少する傾向にありますが、「新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただく」ことを柱として、新規店舗の開設やアパレルメーカー他異業種・他企業とのアライアンスを強化し、お客さまとの接点拡大を図りました。

また、新たなサービスとしては、3月より、高級素材品や毛皮・皮革製品等を対象とした「プレミアム保管」、ブーツ3足のクリーニングと保管をセットにし宅配便でお取扱いする「おまかせブーツパック」の取扱いを、7月からは、クリーニング業界では初となるスウェーデンで開発された環境及び肌にやさしい抗菌防臭加工剤「ポリジン」を使用した「ポリジンウォッシュイン加工」の取扱いをそれぞれ開始しました。

これらの結果、売上高は174億6千3百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益（営業利益）は8億1千2百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等向けのリネンサプライ部門と工場等の事業所向けのユニフォームレンタル部門に大別されます。

リネンサプライ部門は、都心部高級ホテルの稼働が高い水準で推移したほか、海外からの訪日旅行者の回復などにより、リゾート部門でも稼働が持ち直したことから、堅調に推移いたしました。ユニフォームレンタル部門も、食品関連企業の新規獲得や都心部における外食産業の需要回復に支えられ概ね順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は134億3千2百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益（営業利益）は7億9千8百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

尚、6月のユニフォームレンタル西部事業所明石工場でのISO22000（食品安全マネジメントシステム）認証取得により、東西でユニフォームの衛生品質を強化する体制が整ったことから、全国レベルで食品メーカーを中心とした新規顧客の獲得に繋げてまいります。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。売上高は5億6千8百万円(前年同四半期比2.4%増)、セグメント利益(営業利益)は2億5千8百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。

<その他>

その他事業のうち、事業所及び家庭用モップ・マット等を供給するケミサプライ部門においては、新規開拓、レンタル事業とのクロスセリングの強化を行いました。増収には結びつきませんでした。加えて、連結子会社におけるユニフォーム販売が減少したことから、その他事業合計での売上高は41億3千4百万円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益(営業利益)は1億2千9百万円(前年同四半期比5.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億5千4百万円増加し、310億8千4百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加5千6百万円、受取手形及び売掛金の増加3千2百万円、繰延税金資産の減少6千1百万円等により1千2百万円増加し、102億4百万円となりました。

固定資産は、土地の増加11億2千4百万円等により14億4千1百万円増加し、208億7千9百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の減少2億9千1百万円、支払手形及び買掛金の減少1億5千5百万円、未払法人税等の増加3億6千6百万円等により6千5百万円減少し、113億2千3百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加4億6千4百万円等により5億2千9百万円増加し、128億3千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加6億2千3百万円等により9億9千万円増加し、69億2千8百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の18.5%から20.7%へ増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、資材費及び光熱費上昇等の懸念材料もあり、平成25年2月18日に発表いたしました平成25年12月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	825	882
受取手形及び売掛金	3,829	3,861
たな卸資産	4,618	4,609
繰延税金資産	354	293
その他	579	575
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	10,191	10,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,199	18,339
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,666	△12,956
建物及び構築物（純額）	5,532	5,383
機械装置及び運搬具	7,785	7,849
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,965	△6,822
機械装置及び運搬具（純額）	819	1,026
土地	5,963	7,087
その他	3,237	3,831
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,075	△2,195
その他（純額）	1,161	1,635
有形固定資産合計	13,477	15,133
無形固定資産	318	279
投資その他の資産		
投資有価証券	2,565	2,476
差入保証金	1,818	1,795
繰延税金資産	1,257	1,194
その他	96	101
貸倒引当金	△95	△101
投資その他の資産合計	5,641	5,465
固定資産合計	19,438	20,879
資産合計	29,629	31,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,746	2,591
短期借入金	3,731	3,439
1年内返済予定の長期借入金	1,964	2,042
1年内償還予定の社債	60	60
未払法人税等	253	620
賞与引当金	187	420
その他の引当金	20	16
その他	2,426	2,132
流動負債合計	11,389	11,323
固定負債		
社債	160	100
長期借入金	6,215	6,680
退職給付引当金	2,698	2,881
役員退職慰労引当金	236	199
環境対策引当金	36	36
資産除去債務	198	211
その他	2,757	2,722
固定負債合計	12,301	12,831
負債合計	23,691	24,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,496	1,496
利益剰余金	1,808	2,431
自己株式	△230	△232
株主資本合計	5,484	6,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	448
為替換算調整勘定	△217	△126
その他の包括利益累計額合計	△3	321
少数株主持分	456	501
純資産合計	5,938	6,928
負債純資産合計	29,629	31,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	33,208	33,552
売上原価	28,622	28,653
売上総利益	4,586	4,898
販売費及び一般管理費	3,969	4,003
営業利益	616	895
営業外収益		
受取配当金	30	32
為替差益	18	138
受取補償金	46	50
持分法による投資利益	14	26
その他	120	119
営業外収益合計	230	366
営業外費用		
支払利息	184	182
シンジケートローン手数料	1	1
その他	14	34
営業外費用合計	199	217
経常利益	648	1,044
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	1	454
負ののれん発生益	2	—
特別利益合計	5	454
特別損失		
固定資産処分損	17	14
投資有価証券評価損	51	—
災害による損失	5	—
特別損失合計	74	14
税金等調整前四半期純利益	579	1,484
法人税、住民税及び事業税	224	588
法人税等調整額	136	33
法人税等合計	360	622
少数株主損益調整前四半期純利益	218	861
少数株主利益	24	43
四半期純利益	194	817

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	218	861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	218
為替換算調整勘定	3	59
持分法適用会社に対する持分相当額	4	46
その他の包括利益合計	225	324
四半期包括利益	444	1,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416	1,142
少数株主に係る四半期包括利益	28	44

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリー ニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	17,074	13,050	555	30,680	4,229	34,909	△1,701	33,208
セグメント利益	648	689	238	1,576	136	1,713	△1,096	616

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,096百万円には、セグメント間消去△2百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,093百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリー ニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	17,463	13,432	568	31,465	4,134	35,599	△2,046	33,552
セグメント利益	812	798	258	1,870	129	2,000	△1,104	895

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,104百万円には、セグメント間消去△20百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。